

自己改革の取り組みと成果 Vol.5

魅力ある地域農業のために

JA遠州中央は、自主・自立の協同組合として、自ら改革に取り組んでいます。これらの取り組みは、組合員の皆さまに評価いただいて初めて成果となります。この資料では、JA遠州中央自己改革の取り組み状況を報告します。これからもJA遠州中央は、農業所得の向上や、地域農業の振興に大きく貢献し、地域になくてはならない存在であり続けるために、組合員・利用者の皆さまと共に歩んでいきます。

産地力の強化

シャンサイ JA遠州中央香菜部会

【夏季栽培へ品種試験】

シャンサイ(パクチー)を通年生産するJA遠州中央香菜部会は、夏季栽培における発芽不良や生理障害などによる傷みが出やすいという課題がありました。

シャンサイの発芽や生育に適した気温は25℃以下とされ、気温が高い夏場は栽培しにくいですが、一方で昨今ブームのシャンサイが使われるエスニック料理は夏に売れ行きがよく、夏場の需要が高まっています。そこで、夏季栽培の課題を解決するために部会の6戸の生産者が3種類の試験品種を種から栽培し、目揃え会や圃場巡回を通じて生育や出来を確かめました。



【東京市場の関係者が試験品種を評価】

令和元年8月上旬、同部会役員やJA職員が東京・大田市場と豊洲市場に試験品種の一つを持ち込んだところ、販売担当者や仲卸業者から上々の評価を得ることができました。

JAは出荷拡大に向け、香りの強さや食味などの品種特性を吟味し、部会員それぞれの栽培の仕方に合った種子の選択肢を増やす提案を進めます。

地域と連携 オリジナル商品

【ときめきジェラート】

管内産農産物を使った当JAオリジナルの新加工品「ときめきジェラート」を商品化し、令和元年7月下旬から見付どっさり市・磐田南部どっさり市・森の市の3店舗で販売を開始しました。

お米、トウモロコシ、赤シソ、イチジク、梨を旬の時期に原料として提供し、製造は管内にある人気ジェラート店「じえらーとげんき」に委託しています。7月の販売開始から約2か月で1,200個以上を売り上げました。

ときめきジェラートは農畜産物のPRと幅広い消費者が直売所に足を運ぶきっかけになってほしいという思いから商品化しました。今後はさらに種類と、販売する店舗を増やしていきます。



海外輸出販売

【農産物の輸出拡大】

JA遠州中央は、JA静岡経済連が進める県農畜産物の輸出事業に参画し、平成30年度は1～2月にイチゴ「紅ほっぺ」1,300パックと「きらび香」500パックをマレーシアと香港に送りました。輸出事業に本腰を入れた平成29年度の実績「紅ほっぺ」308パックの6倍近い量となりました。

輸出用のイチゴの荷造りでは、5段重ねた出荷箱に通常より2か所多い縦横5か所を強めに締め、輸送中の振動などに備えました。羽田空港と富士山静岡空港から空輸し、マレーシアと香港に輸出しました。イチゴは東南アジア諸国で高い人気を誇り、現地の高級スーパーなどで、1パック1,500～2,000円程度で販売されています。

平成30年度にはイチゴのほかにも「ライオンメロン」をシンガポールと香港、マレーシアへ、「シオーナ」を香港へ向けて輸出しています。需要に応じて今後も取り組みを続けていきます。



JA遠州中央は、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業、地域社会の振興に向けて、努力していくとともに、「食と農」を通じた地域貢献を、さらに進めていきます。今後もさらなるご理解、ご支援をお願いします。